

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 上の茶屋

(ユニット名) 桔 梗

記入者(管理者)

氏名 安部 直子

評価完了日 平成 20 年 9 月 27 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「いつも笑顔で穏やかな暮らし」という理念を作り、その人らしい暮らしができるようにしている。		「その人らしさ」とは何かをより考えていきたい。
			(外部評価)		
			「地域と交流を持ちながら楽しく暮らせるように」と、新しく地域密着型サービスの理念を作成された。管理者は「地域との交流の中で、利用者が社会で暮らす意識を持っていただきたい」と話しておられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			職員は毎朝理念を唱和し、入居者中心のケアができるようにしている。		今後も継続したい。
			(外部評価)		
			事業所の理念を、毎朝、職員で唱和されている。月1回のスタッフ会等で話し合われることもある。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ホーム便りやパンフレットを地域の人に配ったり、家族や見学の人にも、理念を説明している。		町内の会合やイベント等にも参加しているので、その時にも理念を理解してもらえるよう取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		(自己評価) 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩に出掛けて挨拶を交わし、声を掛けていただいている。		近隣の人たちが気軽に立ち寄り、お茶など飲んでもらえるようなお付き合いをしていきたい。
5	3	(自己評価) 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている (外部評価)	校区の運動会、文化祭などに参加して、地域の人々と交流できるように努めている。 地域の行事には積極的に参加し、ボランティア等の受け入れもされている。校区の市民運動会の際には、利用者は、パン食い競争等にも参加された。又、文化祭時には、利用者手作りの写真立てを出品された。		地域との交流を深めていくためにも今後も継続していきたい。 さらに今後、事業所では、老人会への参加等もすすめていきたいと考えておられた。
6		(自己評価) 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を開き、ホームでの様子などを話し合っている。		認知症についての理解を深めてもらえるように学習会等を開きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	(自己評価) 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる (外部評価)	自己評価は全員で取り組み、改善できるように努めている。 自己評価は、スタッフ会で項目に沿って話し合い、管理者がまとめられた。職員からは、利用者に対する声かけ等、行事が重なり職員主導で進めがちになったことを反省する声も聞かれた。前回の評価結果を受けて、地域との交流を積極的にすすめられた。		今後もより良いホームとなるように取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、報告にとどまらず、そこで意見をもらい、スタッフ間で話し合っサービス向上に活かしている。		運営推進会議では、率直な意見を出してもらえるように色々な人に参加を呼びかけたい。
			(外部評価)		
			会議の参加者の希望もあり、市内の他のグループホームを見学に行かれた。又、逆に受け入れもされている。地域代表の方から「入居・退居の基準について教えてほしい」という希望に、事業所側から説明をされた。		いろいろな立場の方に出席いただけるこの会議を、事業所のさらなるケアサービスの質向上のための話し合いの場とできるよう、活発な意見交換を行えるような会議のすすめ方等の工夫を重ねていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			介護相談員の受け入れを行い、サービスの質の向上に努めている。		意見交換や相談できるように行き来を増やしたい。
			(外部評価)		
			事業所は、今年度より相談員を受け入れておられ、管理者は、市主催の相談員交流会にも出席されている。包括支援センターの提案で、管理者は市内老人会で認知症についての講演をされた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修の機会があれば参加している。		多数の職員が理解できるようにしたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止について学ぶようにしている。		研修に参加するなどして虐待防止に関する理解を深めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に重要事項を説明し、納得していただいている。		これまで同様に十分な説明を行いたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者からの意見を受け入れ不満を解消できるように努めている。介護相談員を受け入れ、利用者からの要望等を聴いてサービス向上に努めている。		様々な人から利用者の意見を受け取れる体制を取り続けたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 家族の面会時に生活状態や心身状況を報告したり、毎月のホーム便りで生活の様子をご家族に報告できている。その他、状況に応じて電話等での報告も行っている。		
			(外部評価) ご家族来訪時には、日頃の暮らしぶりや、薬のこと・受診時の様子等もお知らせしている。毎月のホーム便りでは、写真入で「うちの暮らし」やお出かけの様子をお伝えしている。又、利用者個々に職員からの手書きのコメントも添えられている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時に、ご意見・ご要望等がないかお聞きしている。その他、意見箱を設置している。		
			(外部評価) 家族会は、年2回、行事時に開催されている。ご家族より「何かあった際には、すぐ連絡してほしい」との希望もあり、実行されている。		管理者は、年4回、家族会を開催することを検討されており、ご家族との信頼関係をさらに深め、希望や要望を聞き取れるような機会を増やしていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 何時でも職員が意見を言えるようにしている。出された意見については、前向きに検討している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の生活支援や行事に十分対応できる勤務を行っている。職員の急な休みに対しても代替りの職員で対応できるようにしている。		状況に応じて、柔軟な対応を行っていききたい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 各ユニットの職員は、基本的に固定している。事業所の都合で異動する場合には、これまでと同じ支援が行えるように引き継ぎを行っている。		誰もが同じケアができるようにしていきたい。
			(外部評価) 新人職員は、担当職員や先輩職員にケアや業務を習うようにされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所外での研修に参加できる機会を作り、全体会等で発表し、研修で得た情報を共有するようにしている。		積極的に研修に参加して介護技術をアップさせ、サービス向上に努めたい。
			(外部評価) 事業所では、県GH協議会主催の研修等には、全職員が積極的に参加できるよう計画されている。職員は、リハビリの研修を受講し、日常生活の中でのリハビリの重要性を認識され、利用者が持てる力をできるだけ使って生活できるよう取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホームの研修会や相互研修で交流を図り、サービスの質の向上に繋げている。		他事業所との交流を増やして、情報交換等ができるようにしたい。
			(外部評価)		
			市内の「グループホーム管理者交流会」に参加されている。職員は、研修会参加時に他施設の職員の方と顔見知りになり、事業所間で交流が始まっている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			休憩室を確保していただいたが、少し離れているため利用するに至っていない。		休憩時間には気分転換できるようにしていきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			個々の勤務状況については管理者を通じて報告され、向上心を持って働けるよう取り組まれている。		事業所に足を運び、サービスの実施状況や職員と話せる機会を作っていく。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			主に家族から情報を得ている。場合によっては体験入所してもらい、本人の求めていることを理解している。入所後も、本人からの訴えを聴くように努めている。		今後も本人の要望に耳を傾け信頼関係を図っていききたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の困っていることや要望を聴き取り、サービス提供に反映できるように努めている。		家族への報告を続けて、信頼関係を継続できるようにしたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談内容から状況を確認して本人に必要なケアを検討し、家族に確認してからサービスを提供している。		よりその人らしい暮らしができるように、情報シートの変更を検討している。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 見学または体験入所によりホームの雰囲気に馴染んでもらえるようにしている。入所後も、ご家族に頻回に来訪していただき協力してもらっている。		実際には、家族に都合で入所されることが多い。出来るだけ本人が納得できる生活を目指したい。
			(外部評価) 利用者が事業所での生活に慣れるまでは、ご家族の頻繁な来訪等、協力をお願いされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の先輩であると考え、利用者から教わる場面をもてるように接している。日常生活においても個々の能力を活かして協力し合える機会を設けている。		利用者、職員共に、支援する側、される側という意識を持たないようなケアを行いたい。
			(外部評価) 管理者は、家庭的なグループホームを目指しておられ、時には、職員が娘・嫁になり接されたり、利用者の方から裁縫を教えてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族により状況が異なっている。家族と職員の思いが、少し違っていることもある。		家族との情報のやり取りを増やし、本人と家族、そして職員との関わりを強くできるようにしたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 外出や外泊、行事への参加で本人と家族と一緒に過ごすことを勧めているが、家族の状況により異なっている。		事業所での暮らしや介護にも家族が関われる機会を作っていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの関係が途切れないように、個々の生活習慣を尊重している。		今後も継続的な交流が出来るように努めていきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係に配慮して会話したり、職員が橋渡し役となっている。		利用者同士の関係が悪くならないように努めていきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 家族から相談があれば、話を聞いて支援できるようにしている。		それぞれの家族の状況に応じた支援、関係を大切にしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			会話や表情の中から本人の思いを察するようにしているが、身体的なケアが中心となり不十分などところがある。		一人ひとりの思いや意向を把握し易いシートを用いて情報共有できるように検討したい。
			(外部評価)		
			毎朝のミーティング・申し送り等、職員個々が日々の利用者の生活について気付いたこと等を話し合い、又、利用者個々の担当者は、気付きを日々記録されている。		事業所では、記録のあり方について、より見やすい記録となるよう、見直していきたいと考えておられる。さらに「利用者一人ひとりの把握」に努め、個々の思いを大切にされた支援を目指していきたい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			これまでの暮らしについては家族や本人から聞いているが、職員間で情報共有できる書類としては記録が不十分である。		新しいシートを導入する等して情報収集に努めたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの身体状況や生活リズムを把握すると共に日々の状態にも気づけるように努めている。		本人の状態を把握し、それぞれの能力を發揮できる機会を増やしていきたい。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人、家族の意向に添うよう担当者を交えてカンファレンスを行い、計画を作成している。		家族が参加したカンファレンスを行えるようにしたい。
			(外部評価)		
			ご家族の意見や職員の日々の気付きを取り入れながら、職員で話し合い、介護計画を立てておられる。		管理者・職員で介護計画についての研修に参加し、学ばれた。今後、計画内容の評価等、書式類の検討を重ね、介護計画の内容等の質を高めていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			利用者の変化に応じた話し合いを行っている。まだ、介護計画を変更するような大きな変化は起こっていないため定期的な見直しを行っている。		話し合った際の記録を整備していきたい。
			(外部評価)		
			介護計画は、3ヶ月毎に見直すようになっている。状態変化時には、その都度話し合いを行うようになっている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の生活記録には記載しているが、情報を共有できる書式にはなっていない。大事なことは、回覧で周知するようにしている。		情報を共有できる書式を作成して活用したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況に応じて、買い物、散髪、通院等に同行して要望に応えている。		身体機能の低下を防止できることにも取り組みたい。
			(外部評価)		
			事業所では、ご本人の馴染みの店での買い物や、散髪等ができるように支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の人たちの慰問や学生の実習の受け入れを行っている。		保育園や小学生の訪問も協力を呼びかけていきたい。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のケアマネジャーと話をすることは殆どないが、本人の状態や必要に応じて、同系列のデイサービスを利用している。		要望があれば、今後も継続していきたい。
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターも参加しており、情報交換を行っている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。受診時に家族が送迎できない場合は、職員が通院介助を行っている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(外部評価) 希望するかかりつけ医を受診できるよう支援されている。2週間に1度は、協力医が往診に来てくれるようになっている。		(自己評価) ホームのかかりつけ医療機関がある。2週間毎の定期的な往診もあり、気になることがあれば、その都度相談している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ホームに看護師はいないので、ホームのかかりつけ医療機関の医師に相談している。		看護師の配置について検討していきたい。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 本人が安心できるように職員が病院に行って様子を伺ったり、退院後の生活に向けて情報交換を行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合、本人や家族、かかりつけ医と話し合い、今後の支援について検討している。		事業所としてできる事と家族の要望が異なることがあるため、どこまで対応できるか明確にしておく。
			(外部評価) 医療行為が必要となった時には、原則として退居となることをご家族に説明されている。利用者の状態変化時等には、ご家族・医師を交えて話し合い、場合によっては、事業所で他施設を紹介し、手続きを行ってられる。		今後、管理者は、重度化、看取り時の支援について、法人・ご家族・職員で話し合っていきたいと考えておられた。ご本人やご家族の希望や思い等も探りながら、重度化・終末期の支援について話し合われてみてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 身体状況に変化が起こる度に、今後の対応について職員間で話し合っている。かかりつけ医にも状況を報告して対応している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入居されたり、他事業所へ移られた場合は、アセスメント、ケアプラン、サマリー等必要な情報を提供して情報交換している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 利用者の居室に入室するときには、本人に声をかけるようにしている。排泄関係の声かけで、本人の心身状態によっては、プライドを傷つけてしまうことがある。</p> <p>(外部評価)</p> <p>排泄介助時等の言葉や対応等、ご本人、又、周囲の方々に配慮が必要な場面もある。</p>		<p>本人のプライドやプライバシーを損ねないように配慮した言葉かけができるように努めたい。</p> <p>職員は、利用者が排せつや行動等、失敗があった時にも、さりげなくカバーできるような配慮が必要と感じておられた。利用者個々が安心して心地よく暮らしていけるようなかわり方について、この機会に話し合ってみてほしい。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 利用者が自分で決められるように、本人の認知力に応じた説明をして自己決定の機会を作っている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 基本的には一日の流れがあるが、その間で一人ひとりの自由な時間を過ごしてもらっている。</p> <p>(外部評価) 昼食時、ご本人のペースでゆっくりと時間をかけて食べられる方がうかがえた。職員は、時々、声かけしながらゆったりと見守っておられた。ご本人の希望により、居室で食事されることもある。</p>		<p>利用者の思いを尊重し、それぞれの生活スタイルにあった支援を行いたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 行きつけの理美容院がある方は行ってもらっている。衣服については本人に確認しながら決めている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員と一緒に食事を楽しんでいる。準備や片付けも一緒に行っている。 (外部評価) 配食サービスを利用されており、毎食調理されたものが届くようになっている。月1回は、「手作りクッキングの日」週1回、「手作りおやつの日」を設け、手作りを楽しまれている。調査訪問時、職員は、利用者と一緒にホットケーキを焼いておられた。		管理者は、今後「手作りクッキング」の回数を増やし、四季折々の食事を楽しみたいと考えておられた。又、ご飯は事業所で炊いておられ、「食事を作る時の匂い」の大切さも感じておられた。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お茶、コーヒー、ジュース等、本人の好みに合わせて提供している。お酒、たばこを希望される利用者はいない。		一人ひとりの好みや希望を大切にしたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 本人の訴えや排泄表を活用して、個々に合わせたトイレ誘導を行っている。気になる事があれば医師に相談し、薬による排泄支援も検討している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			通常は毎日午後に入浴できる体制をとり、出来る限り本人が希望する時に入浴できるように支援している。		職員のペースにならないように一人ひとりの希望を大切にしていきたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者に毎日入浴の声かけをされている。入浴介助時には、ご本人とゆっくりかかわるようにされており、利用者の中には、おしゃべりを楽しみながら入浴される方もいる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの習慣及びその時の状況に応じて休んでいただけるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとりの能力が発揮できるような役割や場面を作り、張りのある生活ができるように支援している。		
			(外部評価)		
			家事や趣味の編み物・読書・畑の世話等、ご本人の力量に応じてできるよう支援されている。近くにある法人デイサービスの休日には、施設内にあるマッサージ機やホットパック・平行棒等を利用されている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			原則お金は事業所が管理しているが、本人の管理能力や希望に応じてお金を所持し、使うことができるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の希望に応じて、買い物に出掛けたり、気分転換のために近所を散歩している。		
			(外部評価)		
			月に1~2回は、外食や花見等に出かけておられる。又、希望により喫茶店に出かける方もおられる。日々の散歩時には、近くのお寺にお参りされており、花祭り等に招待いただいている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			事業所として個別の外出支援は難しいため家族に働きかけており、それぞれの家族で外出している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			要望があれば家族に電話したり、手紙を出せるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			ご家族や知人の都合の良い時間に来てもらえるように面会時間は決めていない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自覚しない身体拘束が行われていないか職員相互に確認し、職員の共通認識を図っている。		身体拘束をしなくて良いように代替できるものを常に検討していきたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者が外出しようとしている時は、無理に止めたりせずに、さりげなく声かけをし、一緒に付いて歩く等して、穏やかに暮らせるように取り組んでいる。 (外部評価) 玄関前に音や光を感知するセンサーをつけている。日中、玄関・ベランダ出入口は施錠しておらず、職員の見守りで鍵をかけないケアに取り組まれている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は利用者と同じ空間で記録等の作業をしたり、定期的に居室を回って一人ひとりの様子の把握に努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状況に応じて、保管管理をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 服薬時には、確実に服薬できるように見届けている。事故防止のためにヒヤリハットに記録して、事故の予防対策を検討している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には実施していないため、全ての職員が対応するには不十分である。		定期的に勉強会を行い、全職員が対応できるように取組みたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に防災訓練を実施しているが、地域住民の参加・協力はできていない。 (外部評価) 校区の防災訓練には、利用者・職員で参加された。いざという時には、自治会長に連絡すると、地元消防団に連絡してくれるようになっている。		地域住民の参加・協力を得て、訓練実施に取り組めるように努めていきたい。 さらに、夜間を想定した訓練等もすすめていきたいと考えておられた。又、地元消防団に事業所のことを知っていただけるような取り組みも、すすめていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 事前に家族に説明し、自由な暮らしの大切さと、事業所の取り組みを説明し、理解を得られるように努めている。		状況の変化と把握に努め個別に見直し・検討を行っていく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人ひとりの状態変化に気付けるように日々の様子を観察する。併せてバイタルも記録し情報を共有できるようにしている。		僅かな変化も見逃さないように全職員の意識を統一していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりが使用している薬の効能書きをファイルに綴じて分かるようにしている。服薬による症状の変化についても、主治医に報告・相談している。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) かかりつけ医に相談し、必要であれば服薬していただき、身体を動かすように働きかけたり、状態に応じて腹部マッサージを行っている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 全員が毎食後ではないが、一人ひとりの生活習慣を踏まえ支援し、就寝前は義歯洗浄を行っている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 食事量・水分量を記録して職員間で共有し、それぞれに応じた支援ができるようにしている。 (外部評価) 昼食時には、冷たいお茶や熱いお茶を飲まれる方がおられ、職員はおかわりもすすめておられた。</p>		<p>一人ひとりの栄養状態、水分摂取量の変化からも健康状態を予測できるようにしていく。</p>
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 職員共にインフルエンザの予防接種を受けており、ノロウイルス等の感染対策として、ペーパータオルを使用したり、排泄処理時に消毒する等の予防に取り組んでいる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>配食サービスを利用している。まな板やふきん等は漂白し、調理器具は常に清潔にしている。冷蔵庫についても、食材の確認・掃除を行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>花を植えたり、生き物を飼う等、和やかな雰囲気で見守りやすくしている。靴の履き替えがしやすいように椅子を置いている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>物的な環境にも気を配り、壁面の飾り付けも家庭的な雰囲気を壊さないように気をつけている。ウッドデッキには自由に出入りでき、外の景色を眺められるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には、日常の写真や手作りの装飾品等が飾られている。ウッドデッキには自由に出入りでき、庭の草花等を眺めながら過ごせるよう、椅子も置かれている。</p>		<p>利用者にとって居心地の良い空間になるように、利用者と一緒に考えていきたい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>椅子やソファの位置にも気を配り、共有スペースを思い思いに活用できている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者の馴染みの物や生活習慣に合った物等を持ち込んでいただいている。		個性的なその人らしい空間作りがなされるように家族にも協力をいただきたい。
			(外部評価)		
			居室には、ご本人、ご家族の写真や趣味の道具・タンス・机・位牌等が持ち込まれ、ご本人の生活習慣を大切にされている。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			排泄物の臭いがし難いような処理や換気に気を配り、温度調節も一人ひとりが快適に過ごせるように配慮している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			各所に手すりを取り付けており、自立を促しやすい環境になっている。居室にも手すりを設置している所がある。		出来る限り、一人ひとりの状態に応じて安全な環境作りができるようにしていきたい。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			その時の状態や能力に応じて、職員が支援できている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			敷地内に畑を作り利用者で収穫を楽しんだり、洗濯物干しや日光浴ができるスペースを確保している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	常に利用者の意向に添った対応ができているとは限らないが、概ねその人らしい生活に向けた取り組みができている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やおやつの時にテーブルを囲んで世間話などをして楽しんでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事以外は、テレビを観たり居室や居間で休んだりして、一人ひとりのペースで過ごせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	身体に関する介助をしたり、ちょっとした気遣いをする事で、言葉や表情で感謝の気持ちを表している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	事業所だけでは難しいが、家族の協力も得て、利用者の状態に応じた範囲で出掛けられている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	健康管理を行い医師から心配ないと言われても、自分の病気や身体について自覚している利用者は不安をもっている。職員は不安とならないような言葉かけを心掛けている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりのその時の状態に合わせた支援を行っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に、家族から要望や気になることはないか等の話を聞くようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	家族以外に1~2ヶ月に1回程度、利用者の知人が訪ねて来ている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議で情報交換もできており、少しずつ繋がりが深まっていると実感している。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が ① 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	認知症状に苦慮する場面もあるが、利用者と一緒に喜んだり職員間で相談・協力し合っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者からの感謝の言葉や表情から満足していると感じる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が ① 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時に来られた時に、現在の状態や今後のケアの方針を話すようにしている。感謝の言葉や、方針に賛同してもらえることから満足されていると感じている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・「いつも笑顔で穏やかな暮らし」を理念に掲げ、全ての職員が利用者一人ひとりの状態に応じた支援を行っています。
 ・季節や地域の行事に合わせて外出したり、近所にある四季折々の花が楽しめる遊歩道を散歩して、地域の方々とのふれ合いを大切にしています。
 ・畑で野菜を栽培し職員と一緒に収穫を楽しむことができます。
 ・認知症介護に関する研修に参加して介護技術及び知識の向上に努めています。